

子供の頃、水鉄砲で水を飛ばした経験は誰にもおありでしょう。噴霧剤の原理もこんな所にあります。

しかし、噴霧剤による療法は意外に新しく、気管支喘息の治療にアドレナリンを用いた(1940年)のが始まりと言われています。近年では、抗生物質の発達に伴いペニシリンその他多くの薬剤が噴霧治療に使われるようになりました。



- ★噴霧剤とは 噴霧器を用いて霧状にし、殺菌、麻酔などの目的で咽喉または、鼻腔に噴霧する外用液剤です。
- ★エアゾール剤とは 薬液を低沸騰の噴射剤とともに特殊噴射装置を有する容器に充てんし、その圧力で薬液を煙霧状に噴射させる製剤です。
- ★特徴 噴霧させる容器には、色々なものが用いられていて、ブリキ、アルミニウム、真ちゅう、ガラス、プラスチックなどのものがあります。通常は、容器の内側が防触コーティングされているものが多く使用されます。これを応用して、噴霧剤は現在、生活の様々な面で広く使われるようになってきました。医療用としては呼吸器ばかりではなく、皮膚疾患の治療にも使われているほか、消毒殺菌剤、殺虫剤、防虫剤など環境衛生面にも役立っています。また、お掃除用品から生活に潤いを与える美しい香りの香水、化粧品などにも使われ、すっかり生活用品の一部になっています。(平成5年 市政だより掲載)